

製品名: SMARCD1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87749**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:20-1:50,FC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:58 kDa; Observed MW:58 kDa

抗原情報

遺伝子名	SMARCD1
別名	CSS11; Rsc6p; BAF60A; CRACD1
遺伝子ID	6602
SwissProt ID	Q96GM5
免疫原	ヒト SMARCD1 の合成ペプチド

背景

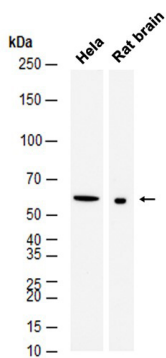
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、SWI/SNFファミリーに属するタンパク質です。このファミリーに属するタンパク質

はヘリカーゼ活性および ATPase 活性を示し、遺伝子周囲のクロマチン構造を変化させることで、特定の遺伝子の転写を制御すると考えられています。コードされるタンパク質は、ATP 依存性クロマチンリモデリング複合体である SNF/SWI の一部であり、酵母 Swp73 タンパク質と配列相同性を有しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



SMARCD1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、HeLa 細胞およびラット脳組織からの抽出物をウェスタンブロット分析しました。